

イマヌエル教報

2020.

1

1947年7月1日第三種郵便物認可 2020年1月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.882

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒1:8）

ワンチーム

～主にあって一つ～

教団代表 内山 勝



「あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。」（ガラテヤ三・28）

2020年を迎えました。主のまこころが天で行われるように、地で行われますように。この年が、主の恵みの1年となりますよう祈ります。

昨年のワールドカップ・ラグビーで、にわかファンになった方も多いと聞きます。それ程の感動をもたらしたのは、アスリートたちがワンチームになっているのを目の当たりにしたからではないでしょうか。一人ではどうにもならない困難に直面しても、皆が一つとなるなら、乗り越えられるのです。何度敵に阻まれても、パスで繋いで、また繋いで、遂にトライした瞬間のチームの一体感は、何とも言えないものなのでしょう。だから、試合中どんなに苦しくても辛くても、ラグビーをやめられないのです。

教会も同じではないでしょうか。私たちに今必要なのは、真の意味でワンチームとなることです。

みことばが教えている通り、私たちは、すでにワンチームなのです。イエスさまが真ん中におられ、私たちは同じチームのメンバーとされています。ですから私たちは上からの号令や自分たちの力によって一つになろうと頑張る必要はないのです。既に与えられている一致の恵みのゆえに、主に感謝しましょう。

私たちに求められているのは、主から与えられている一致を保つことであり、それを壊さないことです。

では、何によって一致は損なわれるのでしょうか。裁き合うことによってです。自分が正しくて相手が間違っていると言い張ることによってです。チームメイトなのに、なぜ裁き合うのでしょうか。誰も、正しい人だという理由でチームに迎えられたものではありません。逆です。罪深く救いようがないことを認めて、救い主が必要だと分かったからこそ、イエスさまのチームに入れていただけたのです。それを決して忘れないようにしましょう。

一致を壊すもう一つは、不信感です。主が集めてくださったチームメイトを信頼しないなら、いとも簡単に一致は壊れます。どうせそんなことをしてもうまく行くはずがないとか、あの人にできるはずがないとか、不信が次の不信を生み、その結果、チームの結束は崩壊します。主にあって、互いに信頼し合いましょ。一人だけで走ろうとせず、信頼して誰かにパスをしてみましょ。できるできないの議論をする以上に、先ずは信じて一緒にやってみましょ。積極的に互いに歩み寄りましょ。距離を置くことで安全を保とうとする余り、パスを送れないほど離れてしまつと、チーム力が落ちてしまいます。互いの長所を認め合い、弱いところは補い合いましょ。そうすれば、備えられた結び目で、主が力強く働いてくださるはずから。私たちは既に、主あってワンチームなのですから。

目次

- ワンチーム～主にあって一つ～……内山勝……1
- 局長・新しい年への期待と展望……2
- 名古屋教会献堂式報告、九州女性大会……3
- 海外トピックス、国内教会局、読書のひろば……4
- 関東南ブロック近況と祈りの課題、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

期待と展望

主を証しする使命として

総務局長
寺村 秀嗣

「……あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしておきなさい。」

(第一ペテロ三・15)

昨年一年間の皆様のお祈りとご協力に心より感謝申し上げます。本部でも全国の教会を覚え、お祈りしながら牧師と信徒の協力を進めています。

教会、教団の働きの中で、会計や事務に関する仕事を毎日、毎週、毎月変わらずに果たすことは、時に煩わしく感じられ、福音と無関係なものと思われることがあるかもしれません。しかし決して小さなことではありません。福音を語り、主を証しする使命の中には、この面についても、いつでも弁明のできる用意が含まれているように思います。福音に秘められた希望が実際に生きる日々の歩みの中に表される一年となるように願います。それぞれの教会の会計事務に携わる皆様のご奉仕が祝され、主の栄光が現されることを心よりお祈り申し上げます。

期待と展望

委ねられた宣教の使命

国内教会局長
岩上 祝仁

「イエス・キリストの名によって……。」(使徒の働き三・6)

新年を迎え、教団も教会も様々な困難を見渡しながらなお前進して行きます。救い主であるイエスに信仰の目を上げ、主が教会に委ねられた宣教の使命に励みます。

第一に私たちはキリストによって捉えられ、キリストのものになり、キリストを持つていくということです。単にキリストを信じている以上のことが意味されています。信仰によってキリストが私たちのうちに住んでおられる。この恵みを喜び、感謝し、日々にかみながら私たちが刷新してくださる主イエスの力で歩みましょう。それがキリストを証しする第一歩です。次にキリストを分かちあてえることです。主は私たちさえも聖霊の器として用いてくださいます。私を通してキリストはご自身の愛と力を表し、人を救い、作りかえてくださるお方です。私たちもペテロのように聖霊と信仰による積極さを与えられて主イエスを周囲の方にお分かちしましょう。

期待と展望

地の果てにまで救いを

世界宣教局長
梅田 登志枝

「わたしはあなたを異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたらす者とす。」(使徒の働き一三・47)

局では、国内教会が世界宣教に関心と重荷を持ち「宣教的教会の建設」を目指していただくことを願っています。そのために、教報、ホームページの更なる充実に取り組みで参ります。また、宣教師の巡回も予定されています。今年は今年度で根拠恵子宣教師、四月からは豊田常喜、恭子宣教師ご一家です。ぜひ、お招きください。また、例年のように宣教聖日を目標として宣教ビデオを製作します。今年も訪問団は送りませんが、宣教師は勤務調整が必要なため、訪問の際は宣教師と直接ご相談ください。

オリンピックの年、海外から多くの人々が日本を訪れます。国内教会ならではの世界宣教への取り組みが求められる時代です。地の果てにまで、救いをもたらす使命を果たす教会であるために。

期待と展望

教えながら養われる信仰

教育局長
小川 宣嗣

「これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたは、信仰のことばと、自分が従ってきた良い教えのことばで養われて、キリスト・イエスの立派な奉仕者になります。」(第一テモテ四・6)

パウロはテモテに、主の奉仕者として整えられ成長する過程として、みことばを正しく教え伝えること、無自覚に嚙呑みにしない自分自身で注意深く調べることを、そして養われ訓練されること、等を心がけるよう勧めています。

今年も教育部では、信徒伝道者養成スクーリング、少し対象者を広げての若手牧師対象研修会を企画しています。継続的な学びの支援として、eラーニング受講希望者方に補助を予定しています。青少年部では年會時ににキャンフェスティバル、5月の西日本地域YS大会、8月の第7回YS全国大会、第13回中高生とにキャン等が予定され、CS課でも各地域CSを支援する活動を行います。今年も主にあるお祈りとご支援をお願い申し上げます。

期待と展望

信徒活動の新態勢造り

信徒局長
斎藤 純雄

「強くあれ。雄々しくあれ。……あなたの神、主ご自身があなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」(申命記三二・6)

ここまで創設されたばかりの信徒局が、多くの皆様の篤いお祈りとご支援に支えられて来ましたが、主を、主において心から感謝御礼申し上げます。

今総会期締めくくりに、信徒局が軌道に乗って前進していくために、3月末のBTCファミリー年会における信徒を中心とした後方支援活動、4月29日の全国の信徒・教役者を対象としたベテルハウスでの第1回インマヌエル信徒フォーラムの開催、これからの信徒を主体とした信徒局の主在る活動のための新態勢造りなど、いくつもの乗り越えて行かなければならない大山が連なっています。信徒局長一同、常にインマヌエルの主を仰ぎつつ、全国の信徒と牧師の皆様のキリストの愛による協働に支えられて、主と共に前進してまいります。

献堂式

名古屋教会



神の恵みが見える形で

内山 勝

去る11月2日(土)午後1時より、岩上祝仁師(国内教会局長・神戸教会)の司式により、献堂式を執り行わせていただきました。

備え日であるにもかかわらず、180名もの方々がご参列くださり、共に主の聖名を崇めることができて感謝でした。心を合わせて第一の讃美を歌い始めた瞬間、会堂全体に鳴り響く歌声の中に、力強い主の臨在を感じました。

■経過報告を抜粋します。

・振り返れば、2006年に提唱されたビジョン21で新会堂の夢が分かち合われたのが始まりです。

・2011年の60周年記念に合わせて教会建て上げの理念を「宣言文」としてまとめました。

・その理念に基づいてどのような会堂を建てる必要があるかを数十回に亘って教会全体で分かち合いました。多種多様な意見をまとめるのは大変な作業でしたが、継続するうちに、少しずつ新会堂の輪郭が見えてきました。

・2017年10月に新会堂を建てる場所について全教会員で投票を行い、これまでと同じ場所に建て替えることで決定しました。6階

建ての旧会堂を解体するために、どうしても隣接地が必要となりました。

・2018年の教会総会で、これまで駐車場として借りていた60坪の隣接の土地を購入することを決議し、2月に売買契約をしました。

・5社による設計コンペを開始し、2社に絞り、プレゼン後に教会員の投票の結果、阿部建設株式会社と設計・建築契約を結びました。

・同年9月から旧会堂ビルの解体が始まり12月に更地となりました。途中、近隣から騒音や振動へのク



レームが寄せられて難航し、随分折られました。

・2019年1月21日に起工式を行い、建築が開始されました。途中、大工不足などの困難が生じましたが、9月28日に完成引渡となりました。

・13か月の建替期間、礼拝は2箇所の会場をインターネットで結んで行うなど、いろいろなチャレンジがありましたが、タイムリーに集会所や倉庫が主によって備えられたことは感謝でした。

・竣工に至るまで、新会堂プロジェクト委員会は、合計11回開催されました。

■献堂宣言では、教会建て上げの理念「宣言文」を盛り込み、全教会員で心を合わせて、新会堂を主におさげすることができました。

■岩上祝仁師は、使徒一・19、26より「神の恵みを見て喜び」と題して、説教を取り次いでくださいました。

■献堂宣言では、教会建て上げの理念「宣言文」を盛り込み、全教会員で心を合わせて、新会堂を主におさげすることができました。

九州女性大会

三森加寿子先生
を講師にお迎えして
「神の奥義」を学ぶ

久留米教会 吉村和記

11月4日(月・祝日)、秋空の下、熊本教会を会場に九州女性大会が行われました。2年に1度の開催に、広い九州各地より、車に乗り合わせたり、教会によってはバスをチャーターしたりして115名の方々が集まりました。駐車場の整理は熊本教会の壮年部の方々が誘導してくださり、多くの方々の祈りとご協力があっての集いに、期待が高まりました。

講師は4年越しのお願いが叶った三森加寿子先生です。ポリビアから帰国されたばかりでしたが、「神の奥義」と題して、みことば体験とその理解の大切さを、聖書から、そしてポリビアでのお証しを交えながら、力強く淡々と語ってくださいました。メッセージを通して先生のお人柄にも触れることができ、「霊的体験が整理された」「とてもスッキリしました」などの感想も多々寄せられました。午後には鹿屋教会の姉妹のオカリナの演奏や、三森邦夫先生のご挨拶と祈禱課題も頂き、共に祈り・交わりを深める良い一日となりました。



国内教会局から

教会建設の務めに
主が満ちておられる

主にあつて新年のご挨拶を申し上げます。教会の暦ではまだしばらく降誕節は続きますが、壁に掛けられたカレンダーは新しい年の始まりを告げています。人となられた主のいさおを覚えてつつ新たな年に足を踏み



入れましょう。各教会では教会年度を改める総会の準備に入っておられることと拝察致します。みことばに励まされて力強く踏み出す側面があれば、不透明な事柄や見極めの困難な先行きのために信仰の試みを通してそのような面もありましょう。いかなる道が備えられていまでも、エペソ書冒頭に描かれ

る教会の姿が、私たちの教会の実態です。神が惜しむ所なく主イエスにあらゆる力と権威とをお渡しになり、そのキリストを教会に与えられました（エペソ一・22）。この方が満ちておられるところ、それが私たちの連なる教会です。新しい年の教会の歩みの上に豊かな結実と、確かなみ守りをお祈りします。（葛田崇志）

■飼葉おけの木片が約1300年ぶりベツレヘムに里帰り
時事通信によると、イエス・キリストが誕生した時に寝かされていた飼葉おけの一部とされる木片が11月30日、イタリアから1300年を超す時を経て、生誕地のパレスチナ自治区ベツレヘムに里帰りました。幅1cm、長さ2.5cmほどの木片は7世紀、聖地を管理するフランススコ修道会にバチカン（ローマ教皇庁）から寄贈されていたが、パレスチナ自治政府のマフムード・アッバス議長が2018年12月にバチカン市国を訪れた際、フランススコ教皇に木片の返還を要請していた。

ベツレヘムの広場で信者らが見守る中、フランススコ修道会のフランチェスコ・パットン神父は聖遺物である木片を納めた豪華な容器を手にし、聖誕教会に隣接する聖カテリーナ教会へ運び、そこでミサを行った。パットン神父は29日、ミサに先立ってAFPの取材に応じ、

「今から2000年以上も前にベツレヘムで聖母マリアの元に神の御子が生まれたということ、私たちに思い起こさせてくれるゆえに、我々はこの聖遺物を崇敬する」と語った。



海外トピックス

じ、640年頃に当時のエルサレム総主教ソフロニウスが贈り物として教皇テオドルス一世へ木片を送ったと説明。だが今後は「永遠に」ベツレヘムにとどめ置かれるという。パットン神父は木片につ

■「決して戦争があつてはなりません」II教皇メッセージ公開
11月24日に長崎を訪れたフランススコ教皇がつづった平和を祈るメッセージが、長崎市平野町の長崎原爆資料館で展示されていると毎日新聞電子版が報じた。

■「決して戦争があつてはなりません」II教皇メッセージ公開
11月24日に長崎を訪れたフランススコ教皇がつづった平和を祈るメッセージが、長崎市平野町の長崎原爆資料館で展示されていると毎日新聞電子版が報じた。

読書の
ひろば

牧師・教会リーダーのためのメンタルヘルス

河村從彦 著

いのちのことば社刊

出版事業部扱い

定価一、三〇〇円＋税

9年前、河村從彦氏が神学院の院長となつてから新規の科目が設けられました。それが牧会演習です。私はこれこそが今の神学院の教育課程の目玉だと思っています。神学生が聖日ミッシンに派遣され、そこで起こった出来事、自らが関わった人々を振り返り、院長と共に考え、アドバイスを祈り求めるクラスです。

本書は河村氏が思い描く「健全な」牧師像の凝縮です。それは単なる理想像ではなく、卒業して指導的立場に入った時、だれもが陥る危険な諸点を優しくわかりやすく、それでいて鋭く指摘してきます。この鋭さには耳を傾けなければいけません。なぜなら、私たちは「霊的」な牧者、「敬虔な信仰の先輩」という衣を着ることによって、自らの「狼」性には無頓着で、周囲を傷つけることもしばしばあるからです。いや、気が付けばまだ救いようはありませんが、「狼」性が気が付かずに、それが真の霊的指導者であるかのように尊敬してしまうことは愚かです。

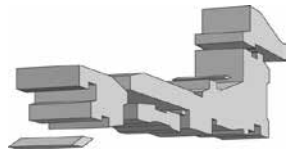
牧師が自分は神によって召された特別な存在である意識しすぎるとどうなるでしょう？ 皆と同じ罪人・愚かな人間でありながら、自分自身を見事に隠し、どこかで「神を演じて」しまっています。

人は人の魂の中、心の中にまで踏み入ることはできません。そうする権利も資格も、能力も持ち合わせていません。にもかかわらず、自分が召され神学校で学び、按手礼を受けたから「権威をまとった存在」であるかのように振る舞っていたら、その間違つた意識が私たちの言葉や行動に出て周囲の人權を束縛し、傷つけ、服従を強要する「狼」になっていきます。

河村氏はこの薄い一冊の本の中に自身の神学的学び、心理学における学びと実践、さらには奉仕生涯の失敗や経験のすべてを凝縮されました。短編でありながら、読めば読むほど自省の念を深めます。同時に、自由な安堵と解放を味わいます。それは信徒の方々も同じでしょう。（藤本 満）



国内教会局 スクエア



関東南ブロックの 近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー

田中 進

●東関東教区（田辺岩雄主事）
教区共通の祈りの課題

▽受洗者が与えられるように。

▽高齢者の霊肉の支えのために。

▽牧師たちの霊肉の支えのために。
水戸教会Ⅱ求道中の方々が救われるように。各自の信仰確立と成長。

神栖Ⅱ若い家庭の建て上げ。CSの活性化のため。教会員の家族の救い。松戸教会Ⅱ地域との信頼関係を築けるように。信徒方の健康の回復のため。安食教会Ⅱ教会

学校・家庭集会・「こひつじ食堂」の祝福。規約作成、会堂返済が進むように。高根教会Ⅱ出席継続中の求道者の受洗。個々人の霊的経験の堅立。行徳駅前教会Ⅱ新しい牧会体制、新しい場所での営みが祝されるように。船橋教会Ⅱ教会

一致し、伝道と建て上げに勤しめるように。会堂2棟が活用されるように。市川教会Ⅱ子育て世代の家庭が加えられるように。教会員の子供たちの救い。千葉教会Ⅱ子供Ⅱ中高生伝道からの結実。新しい奉仕者が与えられるように。木更津教会ⅡCSⅡユースの救いと成長。台風被害に会った信徒方のために。館山教会Ⅱ台風被害の影響

からの回復。次世代の成長。教区として①教区牧師研修会（講師Ⅱ杉本玲子師、子供伝道についての学び会）を経て、次世代伝道と育成を教区、各教会としてどのように進めるかの導きを求めている。②東関東聖会の今後の在り方を、ふさわしく進めることが出来るように。

●東京教区（岡信男主事）

教区主催CS講習会を、2月11日に富士見台教会で開催します。

深川教会Ⅱウエルカム礼拝を始め、トレーニングハウスも活用し、各種教室やGYM主催集会を開催しています。中目黒教会Ⅱ第一、第二礼拝の体制、委員会や組合等を通して教会の建て上げがなされています。近隣に開学の東京音大への伝道を願っています。白鳥教会Ⅱ大谷のぞみ師が副牧に着任しました。伝道サポートシステム活用のコンサートを5月に開催します。王子教会Ⅱ讚美礼拝やコンサートを行いました。板橋教会Ⅱ特別礼拝、実りの秋礼拝他、幼児と母親向け集会を行いました。会堂建築のための導きを祈り求めています。富士見台教会Ⅱコンサート他、詩吟や英語クラス等のプログラムを通して伝道がなされています。武蔵村山教会Ⅱ中尾敬一神学生がインターン派遣され、特別伝道礼拝を行うなど、働きが進められています。立川教会Ⅱ佐藤信行・恭子師が着任され、営みが守られています。八王子教会Ⅱ特別伝道礼拝を行いました。鵜沢教会Ⅱ守られつつ、なお神様に養われ成長できるよう願っています。甲府教会Ⅱザック宣教師を迎え、特別礼拝をもちました。

●神奈川教区（矢木良雄主事）
高津教会Ⅱ牧師を含めて教会の世代交代が順調に進み、主の良き働きが完成へと導かれていきますように。神学院教会Ⅱ牧師・信徒が共に歩み、共に担い合う教会として整えられ、さらに恵みに深められて行くように。横浜教会Ⅱ台風被害は火災保険と教団の支援で満たされました。西谷駅がJRと繋がりが都心と直結。子どもクリスマス会、コンサートは多数来会されました。桂町教会Ⅱ高齢化が進み、健康的にも弱さを覚える時期です。イザヤ四〇章の恵みが与えられるように。湘南中央教会Ⅱ教区の支援を受けてホームページを更新しました。伝道のために用いられるように願っています。葦山教会Ⅱ礼拝出席者が20名を超え、17歳の女子高生が受洗しました。台風で信徒宅が浸水。教会あげてお手伝いしました。



燭台

みことばの杖に頼り

もう一年になりました。それは雪かき作業をしていた時、ちよつとした弾みで右足膝関節に雪かきスコップのヘリが強烈に食い込むという、いま思い出してもゾッとする失態を演じてしまいました。我慢していました。数時間経てから症状は悪化。しばらくは這うこと、やがて山歩き用ストック（杖）を頼りとする生活を一月近く続けることになりました。いまは普通に歩いています。杖はあくまでも「補助」ですが、それでも場合によっては全存在をその一本のストックに委ねる時もあります。その時、杖のつき方が不十分で先端が滑ったり、あるいは長き調整部分の締め付けが緩んだりしていると思わない怪我をしてしまします。■そんな時「みことばの杖」に思いが至りました。聖書のみことばは、私たちが困難に直面したとき、あるいは右か左か迷うとき、「確かな杖」となっています。私たちを支え、導いてくださいます。ある時は「こうあつてほしい」という願望がもしもありません。

あるいは自分にとって都合のいい聖書のみことばを勝手に持ち出して、それを「与えられた」と表現したのかもしれない。しかしそのような試行錯誤を、神さまの前に真面目に繰り返している時に、愛に満ちたもうお方は、「みことばの杖」のつき方、用い方について私たちを教えてください。■その「神のみことばの杖」を握ることが信仰であると表現することが出来るでしょう。■ところが同じ「信仰の実態」に、一見矛盾と見える表現があります。「サーカスの空中ブランコを飛ぶ人が決してやっではないけないことは、自分を受け止めてくれる人の手を握ろうとすることです。相手は必ず飛ぶ人の手を握りしめてくれる。だから飛ぶ人は、自分を必ず受け止めてくれる相手を信じきって、全て委ねることである。」（ヘンリ・ナウエンに関わる文献から引用）一見矛盾するように見えるこの例話は、同じ「信仰の実態」を示している表裏一体のように思えるのです。みことばの杖を握って思い切つて空中に飛び出し、神さまの御手に全てを委ねたいものです。（国光勝美）

巻頭言

世界宣教と家族の救い
～母の祈り～世界宣教局
野田 禎

広げた翼

Immanuel
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

「全世界に出て行き、すべての
造られた者に福音を宣べ伝えなさい。」

（マルコ一六章15節）
「主イエスを信じなさい。そう
すれば、あなたもあなたの家族も

救われます」（使徒一六章31節）
新年となりました。宣教師と家
族、宣教地のため、お祈り頂きあ
りがとうございます。缶などに新
しいコイン献金ラベルを貼って、
先生方、現地の子どもたちの写真
を見ながらお祈りしてくださいと
いることと思います。

先日ある先生から、このような
話を聞きました。昨年洗礼を受け
られた一人の方が洗礼式の時に
話をしておられたことです。この
姉のお母様はクリスチャンで昨年
天に召されました。それから1年
後に墓前で百天1年記念会、そし
て追悼礼拝がありました。その時
大きな転機が訪れたのです。それ
までご実家に行ってはお母様の遺
品を整理しておられたことが、そ
の遺品の中に教会への献金を貯め

ておいた貯金箱がありました。そ
の貯金箱にはアフリカの子どもた
ちの写真が載ったチラシがありま
した。その写真が気に入り、追悼
礼拝の時にお母様が通っていた教
会の先生に渡されました。先生は
その時「アフリカの宣教ナースの
医療活動にも用いられる献金」と
説明されました。お嬢様は貯金箱
を発見し、教会に持って行ったこ
と、牧師先生の話を聞いたこと、
この一連の出来事の中に、自分の
意志を越えた存在を感じられたと
いうのです。ご実家から離れたと
ころに住んでおられるのですが、
家の近くにもイマヌエル教会が
あり礼拝に行くようになり、やが
て洗礼の恵みに与られました。

皆さん、その「アフリカの子ど
もたちの写真が載ったチラシ」と
いうのは、世界宣教局が毎年お届け
しているコイン献金のシールの
ことです。お母様は機会を見つけ
ては、宣教師とご家族のため
祈っておられたことでしょう。私
は冒頭に掲げたことばとともに
「彼は死にましたが、その信仰に
よって今もなお語っています。」
（ヘブル一章四節）を思い起こ
しております。

このお母様の愛とお祈り、そし
て献げてくださった献金箱のこと
を思い出しつつ、今年も世界宣教
のために、そして家族の救いと未
だ主を信じておられない方々の救
いのために、祈りの手を挙げてい
きましょう。



KENYA

ケニア・テヌウェク

蔦田就子*2019年12月10日

主任が約1か月の休暇に入りま
した。現地の医療品会社が年末年
始の休暇を取る前に多めに物品を
注文し、備えをする11月。今月の
超過勤務時間数をまとめてスタッ
フ毎に記述、事務局に届ける仕事
に、来月用6種類の勤務表を次の
勤務までに仕上げる仕事。11人の
看護学生が毎日書く計画表にコメ
ントして手元に返す仕事に、器械
出しに特化した職種の子生2人の
スケジュール調整。日々のあれこ
れ、スタッフの体調不良、機器の
不良や故障、各部屋からのクレイ
ム、回復室での面会に關してのご
家族との調整、他の部門との連絡
調整等も入ってきます。

取水している川の上流の工事と
かで、連日大雨にも拘わらず一時
的に水位が下がり、ポンプに泥が
入ってしまった。終日まっ茶色の
（ミルク少なめのカフェオレ色）
水が病院中の水道から出てくる事
件もありました。

「べき」「すぐに」が並ぶ中、現

状は注文のタイミングが遅れて必
要物品の不足を出してしまったり
夕方遅くまで学生のノートに手が
付けられなかったり、連日チャイ
も昼食もなしで夜中過ぎまでか
かってどうにも仕事が終わらず、
心身ともにつぶれそうでした。苦
手な勤務表や超過勤務時間の報告
書作成など、もう1人の副主任や
休暇中の主任がかなり助けてくだ
さったのですが、それでもできな
いとは、と落ち込む気分も入り込
んできました。

そんな中、アメリカ人宣教師が
多いので感謝祭の準備もあり、割
り当てる料理を夜中にするような
ありさまでした。木曜日の感謝祈
禱会には出席できなかったのですが、
週末の愛餐と、続く子ども向けク
リスマス映画の視聴には部分的に
参加できました。映画は奇跡の星、
マリアとヨセフがベツレヘムに向
けて旅をする中、関連する動物た
ちがにぎやかにおしゃべりしコミ
カルな演技をするのですが、人間
たちには言葉はわからない、とい
う設定です。途中でヨセフが「神
さま、無理です」と弱音を吐くと
ころ、またロバが「ええと、マリ
アはいつもこうしてたっけ」とひ
づめをこつこつと合わせながら一
生懸命お祈りしているシーンが心
に残り、素直に申し上げればいい
んだな、と改めて教えられました。
当日は感謝祭のご馳走で栄養も損
れ、切り替えの時となり感謝でし
た。■



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2019年12月7日

「彼（エリヤ）は壊れていた主の祭壇を築き直した。」

（第一列王記一八章30節）

学校のプロモーションのために家族でラバヨグ教会を訪問、奉仕をしました。宣教車を一時間ほど走らせたところにあるラバヨグ教会は以前にも訪問したことがありましたが、数年前に会堂を新しくしてから久し振りの訪問となりました。

新しい会堂に老若男女総勢80、90人程の出席者があり、以前よりも出席者人数が増えているのを目の当たりにし御名を崇めました。ラバヨグ教会は丘の上にあり、50段以上の階段を上り下りしなくてはなりません。とりわけ、ご高齢の方々の中にはそのことに困難を覚える方々もおられ、そうした方々のためには教会から徒歩で2、3分ほど離れた教会員の方の家を借りて少し早い時間に小集會が開かれています。

今回は、恭子がその小集會、常

喜がラバヨグ教会でそれぞれ奉仕することとなりました。小集會には30名ほどの方々が集っておられました。引退された牧師先生方や元教会役員の兄弟姉妹の中で、私自身の献身の証からのメッセージを取り次ぐことができました。

常喜はラバヨグ教会で学校の紹介、メッセージを取り次ぎました。

主任牧師アリクナ先生御夫妻たちとは以前より親しくさせて頂いたこともあり、集会後のランチは再会を喜ぶ祝福されたときとなりました。ランチ後には教会員の二ノ御夫妻を訪問し、短い交わりの時を持ちました。とりわけ、ご主人のロドリゴさんは糖尿病を患い透析治療を受けながら自宅療養をしておられたので、彼のためにお祈りをしました。御夫妻が献身的に教会を支えられているお話も伺うことができた感謝のひとつとなりました。

11月28日、常喜はマニラにあるアジア環太平洋ナザレンセミナーのチャペルに招かれ、説教をしました。第一列王記一八章30、40節より『主の祭壇を築き直せ』と題し説教しました。語らずしてその背中から語られたエリヤの姿から、私たちの奉仕者としての姿勢、生き方、生活から人々に、教会にメッセージを伝えることの大切さについて話しました。■



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子*2019年12月5日



11月に入り寒さがまし、日本の冬を感じる季節となりました。日本での巡回報告をさせて頂いていただいています。11月は磐田、船橋、中京教区（四日市、名古屋、豊田、岐阜）を巡回させて頂いていただきました。何度目かの訪問で久しぶりにお会いする方々や、初めて訪れる教会で初めてお会いする方々と交わることができ感謝です。また、

日頃お祈りしていただき、サポートしてくださっている方々にザンビアで行われている神様の御業がお伝えできる機会をいただき感謝しています。様々なところに実際に訪れることで、その地域を知る機会時にもなっており、楽しませていただいています。私が知らないこと、経験しないこと、できないことを日本で経験されている兄弟姉妹との交わりを通してする機会となり、それぞれの与えられている立場、環境の中で神様を見出し、歩まれている姿にとても励まされています。また、日本の地においても生きて働き続けてくださっている神様の御業を様々なところから見させて頂いていただきます。普段名前前あげて祈っていただくありがたき立場にいますが、実際ににお会いし知り合うことで私もいろんな方を知ることができ祈りが具体的になることも感謝です。

お祈りいただいている巡回は恵みの連続です。よく宣教の働きの報告でパウロが信徒の方々から励ましをうけたとの聖書箇所が開かれますが、本当にその通りで、訪れる先々で多くの励ましを受けられます。こんな弱く小さきものがザンビアの地に送っていただき医療宣教師として働かせていただける、また報告のために日本の各教会を訪問し報告できるのは本当に神様による恵みです。

ザンビアの現地スタッフとのやりとりもできており、先日の連絡でザンビアに雨が降り始め、雨季

に入ったことを聞きました。昨年の雨季には降水量が少なく農作物などに多いきな影響が出たので、今年は必要な雨が降り、農作物が育つようお祈りしています。■



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香*2019年12月7日

突然なことでしたが、健康のチェックで一時帰国をさせて頂きました。感謝なことに薬の調整と自己管理に気をつけることでザンビアに帰ることが許されました。日頃のお祈りに支えられていることを覚え感謝しております。

最近停電が一日のうち15時間ぐらいあるというザンビアに戻ること、クリニックに復帰できることを考えると感謝です。この一時帰国中には今までになく全てにおいて日本の便利さを感じ、考えさせられました。もともと日本へ順応することの方が大変な私にとってはザンビアに戻れることは喜びです。生かされている感謝を忘れずにクリニックと教会に仕えていきたいと改めて思わされています。■



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2019年12月7日

こちら台湾でも、この冬最初の寒波が襲来し、最高峰の玉山連峰などでは初雪を観測しました。町中ではクリスマスイルミネーションが飾られるようになっていきます。今年は、そのような恒例の装飾・雰囲気と共に、と言うよりもそれを遮るように、年明けの総選挙・立法委員（国会議員に相当）の選挙公報のポスター、超巨大サイズの候補者のパネルが至る所に掲示されつつあります。また香港の民主デモ活動が半年を経過し、続けて応援・支援を表明する草の根活動、チラシや貼紙が市内中心部の各所の地下道や実際に支援を表明した店舗のガラス窓に掲示され、これまでの選挙活動とは違った内容のアプローチ、方法が静かに進められています。そのような張り紙の多くは、英語や日本語の表記のあるものがあり、明らかに外国人に向けての注意喚起であることがよくわかります。新春1月11日の総選挙が平和裡に進

められ、時代の新体制が確立されますよう、引き続きお祈りを宜しくお願い致します。

世界宣教聖日には、日本から世界宣教局長の梅田登志枝先生をお迎えすることが許されました。多忙の中、来台くださり、宣教礼拝でのみことば、異国料理を囲んでの愛餐会の時、愛餐会後の信仰生活の質問コーナーに、入れ代わり立ち代わりで、次々に愛兄弟方が先生の隣に座り、個人的な課題を分かち合い、語らっておられました。双方の日程の都合で夕方には、台南にまで足を延ばし、表敬訪問の時が与えられました。台南聖教會の高敏智牧師、日本語礼拝の川路祥代姉との語らいの時が与えられ、時代と共に目まぐるしく変化する台湾を取り巻く国際情勢、社会情勢の中で、宣教の働きを共に担い続ける者の恵みを共有しました。

私共宣教師夫婦にとっても、子どもたちにとっても、送迎の車中や電車の中での語らい、お交わりが何よりの励ましと力づけとなりました。局長の宣教地訪問は、とても大きな意味があります。現地宣教師と家族にとっては、普段、ネットやメールのやり取りでは十分に伝えることのできない現況、現地の課題をそのまま伝え、共有することが出来ます。また現地教会にとっては、宣教師が派遣されている母体がどのようなビジョンを持ち、現地の教会に関わっているのかを知ることが出来ます。そ

こには、顔と顔を合わせ語らうことによって生まれる絆、信頼関係があります。午前祈祷会のため、家族を代表して、先生を空港まで見送ったことも「ああ、恵みでした。」との一言にすべてが凝縮されている気がしました。



■会計報告11月分

宣教献金 一、二二七、八三〇円
月平均 一、七二七、八八九円

お祈りの課題

ケニア（鳥田就子）

◆大雨による洪水被害の地域、また交通のみ守りのため

◆テヌウエクの働きのため。特に麻酔科と検査室、整形外科医の必要が満たされるように

フィリピン（豊田）

◆休暇にある学生たちがサタンからの誘惑、攻撃から守られ今月帰って来ることができるよう

◆神学教育の働きのため

◆事故、事件、怪我、過ち、災害から家族が守られますように。子どもたちの学びのため

カンボジア（鳥田緑乃）

◆宣教師館に入居しました。2か月間の滞在となります。期間内に各地に散らされて戦っておられる牧師方の牧者として、霊的な励ましの働きに当たります。聖霊のご同行とお働きが与えられますように

◆1月19日の帰国までの滞在期間中に全伝道者と教会を訪問しきれように。そのための諸費用の捻出のため。KCCの経済の祝福と、グレッグ師の運転と通訳のため。全伝道者に一致の霊が新たにされますように。

◆KCC本部と宣教師館は、停電・断水が頻繁にあり苦労しております。問題が解消され、生活がスムーズになりますように

香港（鹿島）

◆与えられた新しい年の御言に教会の一人ひとりが生かされて日々歩めますように

◆手術後の回復と牧師たちの健康と近隣への出入りのため

◆香港の治安と平和、経済の回復のため

ザンビア（富澤）

◆クリニックが主の栄光のために用いられるように

◆健康にきちんと気をつけることができるように

◆クリニックの奉仕に一日も早く順応できますように

ザンビア（根廻）

◆ジエンボクリニックの働きが守られるように

◆ザンビアの天候のために

台湾（平瀬）

◆台中教会と台南日本語礼拝を通して、求道される方、救われる方が起こされますように

◆子どもたちの将来の導きと進路のために（わが家は2人とも受験生です。明里は大学受験、勝大は高校受験）

◆台湾の政治や経済、治安の安定のために。年明け早々の総選挙（1月11日）の平和な実施のためグローバルユースミニストリー（鳥田康毅・由理）

◆年末に洗礼を受けた受洗者の信仰生活が守られるように

◆深川教会で持たれている親子プログラムのために

◆重牧師が帰国された後の中国語礼拝の導きのために

聖宣神学院報



Immanuel
Bible
Training
College

自分を赦す

院長 ● 河村 從彦

「平安があるように」

(ヨハネ二〇・19)

イエスさまは誕生したとき、「地には平和」という歌声で迎えられ、恐れていた弟子たちに「平安があるように」と語って天に帰って行かれました。平安と平和ということばは、聖書ではほぼ同じ概念と考えてよいと思います。

平和はどうしたら実現するのか。だれもが大切だと思っていながら、なかなか実現しません。人間は自分で平和を生み出すことができないからです。自力で平和を生み出せるのであれば頑張りやと律法主義で十分です。しかし聖書は、この

ような問題は引き締めではどうにもならないと語ります。

牧師として生きるために、一部自分を律することも必要です。しかし信仰の中核部分は、自分を律することではどうにもならないことを知っていることも大切です。全部が恵みなのです。

ヨハネの福音書二〇章の通奏低音は赦しです。ユダを赦すべきなのか。ペテロを赦すべきなのか。そんな思いが弟子たちの心の中に渦巻いていたはずで

無条件に赦されたのだから人も赦すべきということはキリスト者であればわかっています。もっと

人に優しくてもよいのではないかな。小さなことは気にせず、もっと寛容であつてもよいのではないかな。たしかにそうですが、実際は簡単ではありません。

自分が赦されることがスタート、そして人を赦すことも大切ですが、もう一つ大切なのは、自分が自分を赦すことです。イエスさまが自分を赦していただくにもかわりなく、自分が自分を赦していないこともあります。心の中にそういった緊張感があると、周囲に対して寛容でいにくくなります。

恵みを知ったわたしたちは、自分を赦める必要はありません。ダメだったことも失敗したことも全部恵みに委ねて、イエスさまが自分を赦していただくのと同じ目線で、自分で自分を赦す。そういうところから平和は生まれるのかもしれない。



本館屋根工事が始まって足場が組まれました

聖宣神学院入学案内

この春、入学審査受験を希望される方は、以下を読み、間違いないように手続きを行ってください。

◆出願資格、コースは、パンフレットやHPで確認してください。

◆出願書類 以下の書式一式を神学院宛請求してください。

一、所属教会牧師推薦書 1通

二、教会信徒推薦書 1通

三、入学願書 1通

四、健康診断書 1通

五、戸籍謄本 1通

六、自筆履歴書(市販書式) 1通

七、写真(履歴書に貼り付けたものの他に一枚) 計2枚

八、最終学歴の学校の卒業証明書(本年見込みの者は、それに代わる書類) 1通

九、最終学歴の学校の成績証明書(本年見込みの者は、それに代わる書類) 1通

十、新生の証し(A4用紙横書き、長さは自由) 1通

十一、召命の証し(A4用紙横書き、長さは自由) 1通

◆出願方法 志願者は出願書類の三十一をそろえて所属教会の牧師に提出してください。所属教会の牧師は一の所属教会牧師推薦書と二の教会信徒推薦書を加えて封筒に封入し、

簡易書留でご送付ください。

◆出願期限 2020年2月17日(月) 必着

◆審査日程 2020年3月2日(月)

◆審査会場 聖宣神学院

◆検定料 いただいております。

◆審査科目 書類審査、筆記試験(聖書、一般)、面接

◆合格発表 一週間以内に受験者宛に郵送で通知します。

◆その他の注意事項

▽所属教会の牧師と相談して出願してください。教会の承認を得て送り出されることは大切です。

▽試験日には、普段使用している聖書を持参してください。

▽主の召命の意味を心に留め、真実な教会生活を心がけてください。

▽入学後の経済について所属教会牧師と話し合っておいてください。

面接でお尋ねする場合があります。

▽イマヌエル教会出身の方は、『イマヌエルの六十年』などを読み、教団の歴史と信仰について学んでおいてください。

▽神学生納入金は、入寮生は月額三万円程度です。聴講生は科目数で受講料が決まります。その他、書籍代、交通費、食費など生活に必要な経費がかかります。入学資金はありません。

▽経済的な理由で学びが困難と思われる学生のためには奨学金制度(貸与)があります。

◆信徒土曜講座の恵み

「教会学校について考える」を受講して

立川教会 森 一朗

信徒土曜講座の春学期に続き秋学期「教会学校について考える」を受講させていただきました。

秋学期は10月と11月に4回開講されました。岩上祝仁先生、内山勝先生、戸塚雅昭先生が教えてくださいました。岩上先生の回は所用により欠席させていただきました。

内山先生は、「教会は子どもとどう向き合うのか」と題して語ってくださいました。そして、少子高齢化や子どもの教会離れという厳しい現実の中で、聖書は子どもについてどの様に語っているかを検証しました。さらに、世界のクリスチャンの約7割が十五歳になる前に入信しているという現実が紹介され、子どもに対する福音宣教の働きの重要性を改めて思わせられました。教会に子どもたちの居場所をつくる、子どもたちに寄り添う、育てる、信頼してチャレンジを与えるという4つのアプローチを学びました。また、クリスチャン家庭の親たちへのケアの必要性や地域の子どもたちへの向き合い方を学びました。

戸塚先生からは、「今、学校現場で何が」と題して講義が行われました。まず時代とともに変化してきた学校現場について詳細に紹介いただきました。そして、子どもの現実と教会学校の教案におけるギャップが示され、子どもを取り巻く現実や抱える課題に対して福音はどう応えられるのかが提起されました。改めて福音理解の重要性を思うとともに自らが子どもに寄り添って語っていたか、律法主義で語っていたのではないかと心を探られました。

また、十月にはBTCオープンキャンパスにも出席させて頂き、葛田崇志先生や河村俊彦先生の体験授業、聖会、河村みち先生のコワイヤ、神学生の方の献身のお証しや交わりなど幸いな経験をさせて頂きました。

◆信徒土曜講座の恵み

子どもに向かう

姿勢を問われた講義

中目黒教会 長島啓子

3人の先生方から4回にわたり教会教育の働きについて幅広く講義いただき、また参加者から各教会でのCSの様子や問題点等を伺う貴重な機会となり、深い思い巡らしと反省、励ましの時となりました。

た。

聖書から「こども」というフレーズで思い出される聖句を挙げるグループワークや、主に用いられる存在としての子どもの時のダビデ、ミリヤム等から聖書がいかに子どもたちを大切な存在として示しているかを再確認し、①生徒は知識を注ぐ存在ではなく、神によって成長する可能性がある存在である事。②教師はどれだけ人格的なふれあいを持つことができるかが問われている事。③現実の学校教育現場で起きている問題や現実を踏まえ、その中に生きている彼らに何を伝えていくのか？ 子どもたちの現状にどう応えるのか？ 福音とは何か？ CSで提供できるプログラムやイベント等は彼らにとって「福音」となっているのか？ 問われるのは私たちの福音理解である等々、貴重な示唆をたくさん



食堂のホールに飾ったクリスマスツリー

いただきました。育て給う主に期待し祈りと準備（聖書物語をこども目線で読み直す。子どもの生活の現実イエス様目線を想像する事で教案がより現実的になる）と信仰を持って取り組む事の大切さを改めて示されました。

深刻な少子高齢化、子ども世代の教会離れ、地域の子どもたちの教会離れなどの厳しい現実教会はどう向き合うのか？ 教師任せにして良いのか？ 今立ち上らなければ教会に将来はない！との問題提起と共に世界規模の宣教運動である「4・14の窓」の紹介DVDを視聴。大きな反省点としてクリスチャン家庭のケアができていなかった事。子育ては親の責任であると同時に教会全体の責任であり、教会離れした子どもの親たちを励ましたり悩みを共有できる場所づくりの必要性については今直ぐにでも教会で取り組むことができる課題ではないかと思いました。

聖日前の備え日、貴重な時間をたくさん資料準備とともに、私たちに与えてくださいました事を心から感謝申し上げ、与えられた主のご命令のご奉仕に喜びと共に当たらせていただきます。

参考「4・14の窓」の意義

子どもは宝物であり、希望の象徴であることはだれもが認めるところでしょう。ではなぜ子どもたちが最優先されないのでしょうか。私たちは次の世代を建て上げる

ため、どうしても子どもたちに力を注ぐ必要があります。

75%の教会は自動操縦をしている遊覧船のようです。流れにただ身をまかせています。教会の外で起きている事に対して無関心で、ただ献金をし、礼拝に出席し、教会生活を楽しむことで満足しています。私たちは今の教会を遊覧船から軍艦に変えなければならぬのです。遊覧船では特定の人たちだけが働きます。多くの人は傍観し、つぶやきます。しかし軍艦では誰一人つぶやかず、全員が働きます。彼らは戦いに勝つという一つの目的のもとに団結し、全力を尽くします。聖書は私たちが霊的戦いのうちにありと語っています。敵は教会に対して常に攻撃をしかけてきます。だから私たちは自分たちを勇士として認識することが必要なのです。私たちは教会と自分の子どもたちを守らなければなりません。世俗主義に対して、物質主義の反乱に対して。それらは津波のように押し寄せてきています。人格形成期にある4歳から14歳までの子どもたちは大変重要な意味を持っています。個人の性格、世界観、価値観、優先順位その他あらゆるものが形成される時期です。それゆえ「4・14の窓」が重要であり、次世代に信仰を継承するために逃してはならないのです。子どもたちは大切な力ギです。社会、コミュニケーション、そして国を変えるために。彼らこそが次世代を創るのです。

私の神学生時代 学院のすべてが益に 21期生 ● 久保泰昭



「あなたはわたしに従いなさい。」(ヨハネ二〇・22)

学生時代が終わろうとしていた時、自分は将来どうするかについて、かなりの時、考え悩み、祈りの時を持ちました。最終的に冒頭のみことばで直接献身への道を示され、当時丸ノ内教会青年会担当でいらした葛田公義先生にその旨をお伝えしたことがつい先日のように思い起こされます。

私が神学院に入学した時、「ホーム」と思いなさいとの勧めがあり、3年間心と生活の拠り所として過ごしました。

当時は東名高速の上の橋を渡るとあたりに人家はなく林に囲まれた学院という感じでした。道路は舗装されてなくて、時々、先生がたをお乗せした車がぬかるみにはまり、男子寮に緊急連絡が入りました。数名が長靴を履いて飛び出し、車を押した後で、この道は世界宣教に通じると話し合いながら戻ってきたことを懐かしく思い起こします。

初代院長・葛田二雄先生には教理とメソヂズムを教えていただき

合同祈禱会で指導されたことは忘れることができません。

同じ建物に起居されていた寮監の葛田真実先生について思い出すことは授業での学びとともに、月曜日の寮内での早天祈禱会で注ぎだして祈ることを教えていただきました。

その他、天にお帰りになった岩城幸策先生、朝比奈寛先生をはじめ多くのよき師に恵まれ感謝しております。私を救いに導いてくださった久芳顕(キリスト伝)、エドナ先生(CS教授法)にも再びお会いし、教えていただきました。こうした先生がたは霊的、知的にはもとより人格的に優れた器方であり、今でも折々に教えられたことを思い出して助けられています。聖日ミッションで近隣の教会で奉仕させたいいただいたことも大きな祝福でした。先生がたと信徒の皆様の主に対する熱心さから多くのことを学びました。

夏期実習も心に残っています。特に一年の時は、横浜教会で、その当時の会堂は民家の建物でしたが、入り口に「さるすべり」の木がありました。それで今でもこの木を見るたびに最初の献身の時のことを思い起こし、心を新たにさせられます。

このような者が3年間の学びと訓練を終えて卒業を許されたことはただ主の憐れみによるものであり、また多くの方々のお祈りと配慮のゆえであったことをしみじみ思い起こし感謝しております。

同窓生の近況

48期生

鶴岡白山教会 ● 茅根久子



教会が酒田から鶴岡に移って来たのは7年前です。最初は挨拶をしても警戒され、無視されていた。5年程前からは、地域の子どもたちが教会の絵を書くためにやって来ています。

昨年は大泉小学校の新聞に教会が写真付きで紹介されました。また、今年の6月には、学校側からの依頼で、2年生32名、教師2名が教会を見学しに来ました。その際に、放蕩息子子の紙芝居をして、子どもたちから質問を受けました。十字架がたくさんある理由は何かという質問があり、その中心的な意味を話すことができた恵みのひと時でした。

来年は本部より伝道支援を頂き、ザック・マッツ宣教師をお迎えして子ども集会を行う予定です。

背後での尊いお祈りを感謝します。引き続き御助祷をお願い申し上げます。「見よ、わたしは新しいことを行う。今それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。」(イザヤ四三・19)

神学院スタッフ…恵みの想起

弱さを知る恵み

学務課 馬場満子

今までの人生を振り返るとそれぞれのステージで色々なことが起きているのですが、子育ての時もフルタイムで仕事をしていた時も、今年ほど気忙しく感じたことはなかったように思います。かわつていて一つひとつはそれほどポリュームではないのに、公私にわたるあれこれでゆったり感を味わう暇が全くありませんでした。よく家族や教会の方々にも、忙しうね…大丈夫？ あまり無理しないようにと言われます。でもそんな中で不思議なことに、神学院のご奉仕だけは(?)とても楽しくさせて頂いています。弱い私をいつも支えて下さる主の御手をごく近く感じられる場所、主の温かいご臨在を感じられる場所がここなのです。IIコリント一二・9

● 謹賀新年 旧年中のご支援・お祈りを心から感謝致します。本年もよろしくお願い致します。

● 年会に向けての整備

・年が明けて、厨房の改修工事が始まります。老朽化によるガス器具等の危険、衛生面の見直しを中心に、ほぼ全面改修になります。

・年会に皆さまをお迎えするため、信徒の方々ご愛労によって本館の片づけが行われています。宿舍として使用する予定の本館2階の教室は、カーペットを張り替えます。ゴザ敷きではなく貸しベツドが検討されています。

・70周年記念事業第3期工事の最後としてペテルハウス前の土留め工事を行います。ペテルハウスは主に家族部屋を予定しています。

● ペテルハウスご利用の際は、商大側のペテルハウス門をご利用ください。駐車は20台可です。

● 神学院祈り会は7日(火)です。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。11月の会計報告をさせていただきます。

11月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥2,000,000

教会員による「神学院サポート献金」
¥793,200
教会団体による「神学院献金」
¥582,080
合計 ¥1,375,280
その他の献金(一時・特別)
¥179,350

・振替: 00230-0-10138

学苑だより



公報

本部通達

恭賀新年

「あなたの真実は偉大です。主こそ、私への割り当てです」と私のたましいは言う。」(哀歌三章23、24節)

2020年の年頭、イムマヌエルの各教会、教団全体が主の導きと祝福が豊かに満ちあふれる中、歩み出すことができますようにお祈り申し上げます。

■本部

▽本教団に属するすべての教会は、条例第81条の定めに従い、1月中旬に新年度の「教会総会」を開催します。教会員は、所属教会の総会(昨年度教勢報告や承認、新年度の活動方針発表などがなされます)にご出席ください。また、各教会は年会資料となる「年報」を1月21日(火)までに本部宛の提出をお願いいたします。

▽来年の年会後の転任異動期間は、原則として4月6日(月)～11日(土)とし、予備日を4月18日(土)までとします。

■総務局

2020年度の教団主要行事予定表(暫定版)を、昨年12月に各牧師宛に配布致しました。日程に変更や修正がありましたら、可能な限り今月中に本部総務局(担当:中山朝雄)までお知らせください。なお、第75次年会資料作成のため、各局・委員会・教区宛に、報告原稿をお願いしていますが、締切は1月20日(月)となっております。年会資料は事前送付を考慮しておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

め、各局・委員会・教区宛に、報告原稿をお願いしていますが、締切は1月20日(月)となっております。年会資料は事前送付を考慮しておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

に帰国の予定です。

▽富澤香宣教師(ザンビア)は一時帰国による精密検査を終え、先月下旬、ザンビアに赴かれました。▽昨年11月の宣教聖日を超え、宣教コイン献金が全国から局に届き始めています。ご協力に感謝いたします。なお本部送金では通常の献金とは別に「宣教コイン献金」と明記してご送金ください。

3月24日(火)タウ25日(水)午前テーマ「牧師とセルフケア」参加対象者に関して、BTC卒業後7年以内の教職試験の方々と共に、伝道師、定住伝道師の方々もお招きします。

の方々大歓迎です。(幼児コーナー設置)

■聖宣神学院
▽入学審査は3月2日(月)、出願は2月17日(月)必着です。受験を考えておられる方は本誌9頁掲載の「聖宣神学院入学案内」を読み、間違いのないように手続きを行ってください。

〈財務委員会〉
昨年の責任役員会において、2020年度の教団予算案が審議され承認されました。昨年度の本部費等(融資返済を含む)本部振替送金は、会計整理の都合上、1月17日までに手配をお願いします。

〈教職按手礼試験について〉
教職按手礼試験の希望者は3月末(例年よりも締め切りが早くなります)までに総務局へ申請書の提出をお願いします。相談は各地域担当ブロック・アドバイザーまで。〈教団4献金について〉

▽2020年の宣教師たちの予定は以下の通りです。
*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽卒業式のご案内 3月13日(金)午後1時30分開式です。
▽年会受け入れ前のキャンパス整備については「学苑だより」をご参照ください。

〈教職按手礼試験について〉
教職按手礼試験の希望者は3月末(例年よりも締め切りが早くなります)までに総務局へ申請書の提出をお願いします。相談は各地域担当ブロック・アドバイザーまで。

*根廻恵子宣教師(ザンビア) 2020年、年会まで。
*豊田常喜、恭子宣教師(フィリピン) 2020年4月～8月。
[IWF]

▽2020年の宣教師たちの予定は以下の通りです。
*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽ベテルハウスについてのお問い合わせ・お申込みは馬場姉まで。

今年も宣教活動推進のために、各教会で以下の諸献金への参加をアピールして頂ければ幸いです。

▽13日(月)関東四教区新年聖会 午前10時30分 聖会 午後1時30分 宣教会 講師:岩上祝仁師(神戸教会牧師) 会場:中目黒教会

▽2020年の宣教師たちの予定は以下の通りです。
*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽ベテルハウスについてのお問い合わせ・お申込みは馬場姉まで。

◆国内宣教献金
◆世界宣教献金
◆神学院サポート献金
◆厚生資金献金

*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽2020年の宣教師たちの予定は以下の通りです。
*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽ベテルハウスについてのお問い合わせ・お申込みは馬場姉まで。

▽13日(月)関東四教区新年聖会 午前10時30分 聖会 午後1時30分 宣教会 講師:岩上祝仁師(神戸教会牧師) 会場:中目黒教会

*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽2020年の宣教師たちの予定は以下の通りです。
*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽ベテルハウスについてのお問い合わせ・お申込みは馬場姉まで。

▽13日(月)関東四教区新年聖会 午前10時30分 聖会 午後1時30分 宣教会 講師:岩上祝仁師(神戸教会牧師) 会場:中目黒教会

*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽2020年の宣教師たちの予定は以下の通りです。
*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽ベテルハウスについてのお問い合わせ・お申込みは馬場姉まで。

▽13日(月)関東四教区新年聖会 午前10時30分 聖会 午後1時30分 宣教会 講師:岩上祝仁師(神戸教会牧師) 会場:中目黒教会

*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽2020年の宣教師たちの予定は以下の通りです。
*アンドレア宣教師 5月～9月 短期報告のためアメリカへ。
*ロビン宣教師 7月以降にカナダより再赴任の可能性がありますが、*ザック宣教師 12月まで奉仕が可能。2021年はアメリカに帰国報告。

▽ベテルハウスについてのお問い合わせ・お申込みは馬場姉まで。

消息報告



▼長崎教会は新会堂が完成し、昨年12月13日に引き渡しが行われました。2月24日に献堂式が行われます。

第75次年会に向けて
年会準備祈禱会

説教 大兼久芳規先生

*
日時 2月3日(月)
午後2時～3時30分
会場 東京・御茶ノ水
OCC411会議室

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣
発行所 東京都千代田区神田駿河台一

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇
OCCビル イムマヌエル綜合伝道団本部

新生宣教団 定価 一部110円(税込)
郵便振替 001107133609

教報PDFパスワード 9845